

決算報告書

(第 22 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

抗菌美装 株式会社

長野県飯田市中村 1 7 5 8 番地 2

比較貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

科 目	資 産		の 部	
	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
【流動資産】	[28,022,638]	[26,015,745]	[2,006,893]	[107.7]
現金及び預金	16,961,740	8,698,232	8,263,508	195.0
受取手形	0	509,258	△509,258	
売掛金	9,245,763	15,560,564	△6,314,801	59.4
商品	1,815,135	1,247,691	587,444	145.5
【固定資産】	[115,057,966]	[36,876,568]	[78,181,398]	[312.0]
(有形固定資産)	(108,446,284)	(31,929,112)	(76,517,172)	(339.6)
建物	62,196,490	7,003,862	55,192,628	888.0
機械装置	8,380,176	3,770,000	4,610,176	222.3
車輛運搬具	5,961,359	9,563,136	△3,601,777	62.3
工具器具備品	4,476,225	1,064,990	3,411,235	420.3
土地	23,738,128	10,033,178	13,704,950	236.6
一括償却資産	1,809,334	0	1,809,334	
建物付属設備	2,084,572	493,946	1,590,626	422.0
(無形固定資産)	(838,667)	(0)	(838,667)	
ソフトウェア	838,667	0	838,667	
(投資等)	(5,773,015)	(4,947,456)	(825,559)	(116.7)
保険積立金	5,714,155	4,888,596	825,559	116.9
リサイクル預託金	58,860	58,860	0	100.0
資産の部合計	143,080,604	62,892,313	80,188,291	227.5

比較貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

科 目	負 債 の 部		純 資 産 の 部	
	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
【流 動 負 債】	[27,274,624]	[20,371,657]	[6,902,967]	[133.9]
買 掛 金	11,063,672	6,693,416	4,370,256	165.3
未 払 金	0	5,827,682	△5,827,682	
短 期 借 入 金	10,600,000	0	10,600,000	
ネットポイント未払金	6,280,966	5,136,026	1,144,940	122.3
預 り 金	△129,848	77,833	△207,681	△166.8
未 払 法 人 税 等	1,127,600	1,170,400	△42,800	96.3
未 払 消 費 税	△1,667,766	1,466,300	△3,134,066	△113.7
【固 定 負 債】	[95,985,839]	[28,307,157]	[67,678,682]	[339.1]
長 期 借 入 金	95,985,839	28,307,157	67,678,682	339.1
負債の部合計	123,260,463	48,678,814	74,581,649	253.2
	純 資 産 の 部			
【株 主 資 本】	[19,820,141]	[14,213,499]	[5,606,642]	[139.4]
(資 本 金)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	(100.0)
資 本 金	10,000,000	10,000,000	0	100.0
(利 益 剰 余 金)	(9,820,141)	(4,213,499)	(5,606,642)	(233.1)
繰越利益剰余金	9,820,141	4,213,499	5,606,642	233.1
純資産の部合計	19,820,141	14,213,499	5,606,642	139.4
負債及び純資産の部合計	143,080,604	62,892,313	80,188,291	227.5

比較損益計算書

科 目	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
【純売上高】	[152,335,470]	[79,962,554]	[72,372,916]	[190.5]
抗菌売上	31,111,640	39,716,093	△8,604,453	78.3
ネット売上	120,886,745	39,672,003	81,214,742	304.7
南信州.com売上	1,152,713	1,276,912	△124,199	90.3
売上値引戻り高	△815,628	△702,454	△113,174	116.1
【売上原価】	[48,083,343]	[32,411,617]	[15,651,726]	[148.3]
期首棚卸高	1,247,691	1,197,495	50,196	104.2
抗菌仕入	15,183,671	16,735,395	△1,551,724	90.7
ネット仕入	33,408,462	15,663,262	17,745,200	213.3
南信州.com仕入	38,654	63,156	△24,502	61.2
合 計	(49,878,478)	(33,659,308)	(16,219,170)	(148.2)
期末棚卸高	1,815,135	1,247,691	567,444	145.5
売上総利益	(104,272,127)	(47,550,937)	(56,721,190)	(219.3)
【販売費及び一般管理費】	[114,540,233]	[55,046,106]	[59,494,127]	[208.1]
営業損失	(10,268,106)	(7,495,169)	(2,772,937)	(137.0)
【営業外収益】	[17,921,175]	[13,866,762]	[4,054,413]	[129.2]
受取利息	251	72	179	348.6
受取配当金	0	30	△30	
受取家賃	15,047,615	13,523,808	1,523,807	111.3
雑収入	2,873,309	342,852	2,530,457	838.1
【営業外費用】	[355,027]	[220,863]	[134,164]	[160.7]
支払利息	355,027	220,863	134,164	160.7
經常利益	(7,298,042)	(6,150,730)	(1,147,312)	(118.7)
税引前当期純利益	(7,298,042)	(6,150,730)	(1,147,312)	(118.7)
法人税住民税及事業税	1,691,400	1,170,400	521,000	144.5
当期純利益	(5,606,642)	(4,980,330)	(626,312)	(112.6)

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

比較販売費及び一般管理費

科 目	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
広 告 宣 伝 費	4,379,703	597,492	3,782,211	733.0
荷 造 運 賃	664,426	253,611	410,815	262.0
地 代 家 賃	5,507,873	3,282,728	2,225,145	167.8
販 売 促 進 費	50,000	0	50,000	
役 員 報 酬	3,055,000	3,000,000	55,000	101.8
給 与 手 当	23,022,847	14,561,626	8,461,221	158.1
退 職 金	830,000	0	830,000	
雑 給	3,347,903	324,697	3,023,206	*****
法 定 福 利 費	2,401,293	2,415,000	△13,707	99.4
福 利 厚 生 費	2,895,548	1,415,387	1,480,161	204.6
減 価 償 却 費	16,793,105	6,891,513	9,901,592	243.7
リ ー ス 料	323,622	109,429	214,193	295.7
修 繕 費	4,761,660	2,279,501	2,482,159	208.9
事 務 用 品 費	350,364	767,159	△416,795	45.7
消 耗 品 費	14,589,475	5,032,479	9,556,996	289.9
水 道 光 熱 費	3,082,400	2,708,036	374,364	113.8
旅 費 交 通 費	2,154,965	821,357	1,333,608	262.4
支 払 手 数 料	291,432	0	291,432	
租 税 公 課	8,526,850	932,209	7,594,641	914.7
交 際 接 待 費	278,790	699,250	△420,460	39.9
保 險 料	3,763,687	2,664,627	1,099,060	141.2
通 信 費	1,718,534	1,140,996	577,538	150.6
諸 会 費	362,465	190,630	171,835	190.1
車 輛 費	1,287,647	2,148,864	△861,217	59.9
新 聞 図 書 費	73,070	79,100	△6,030	92.4
燃 料 費	1,054,928	1,084,694	△29,766	97.3
管 理 諸 費	343,728	320,982	22,746	107.1
研 究 開 発 費	7,868	6,141	1,727	128.1
研 修 費	129,637	95,805	33,832	135.3
倒 産 防 止 共 済 金	2,400,000	600,000	1,800,000	400.0
顧 問 料	310,364	295,915	14,449	104.9
雑 費	5,781,049	326,878	5,454,171	*****
合 計	(114,540,233)	(55,046,106)	(59,494,127)	(208.1)

令和3年5月末日

2021年5月末日

各従業員
お取引先の皆様へ

令和3年3月期（第22期）決算のご報告

抗菌美装株式会社
代表取締役 鈴木詠里子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙の通り、第22期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■新型コロナウイルス特需

2020年2月から新型コロナウイルスによる特需あり。（この決算では2020年4月5月が該当する。）世の中でアルコール消毒剤が不足したため、アルコール代替用の消毒剤として、塩素消毒剤の需要が伸び特需となった。2020年4月、5月だけで、6000万円の売上となった。

■塩素用自動充填包装機を取得

昨年度、塩素充填機を取得したが、新型コロナウイルス特需に応えるため、さらにもう一台取得した。家庭用プールや少量の塩素の充填用機である。

■スリッターの取得

上記の自動充填包装機の取得とともにスリッター（印刷したフィルムの耳を断裁する機械）を取得した。フィルム印刷機では全面に印刷することができないため、全面印刷の場合、両サイドのインクが乗らないところを切り取れるようにした。これにより自社内で全面印刷が可能となった。

■新事務所・工場建物の取得・移転

新型コロナウイルス特需があったこと、合わせて経済低迷期であったことで、入札なしで競売不成立の中古の工場を、競売金額より安く手に入れることができた。今までの約3倍の床面積2724.8㎡である。9月より改装をはじめ、2月に移転した。温泉の素.com(株)と協議し、中村本社・工場らを統合し、1カ所に集約した。建物取得費2304万円+一部土地500万円+改装費3561万円。←が資産台帳に載った金額。その後、一部の土地を738万円で追加取得している。（一部借地の地代は年279万円である）

飯田市工業課の工場誘致策（企業立地・振興推進事業補助金）にあてはまるようにし、抗菌美装(株)で建物取得し改装した。改装後、温泉の素.comとともに移転した。

（飯田市へ2021年度秋ごろに、固定資産税等の3年間の減免措置や土地取得費用の10%補助などの申請を行う予定である。従業員数3人の増加や設備投資金額7000万円以上などという縛りがあるが、現時点でクリアしている）

本年は、この建物取得に関して消費税を多く支払っているため、決算時支払い消費税は「還付」となっている。

建物土地の取得税として478万円を納税している。

その後、追加の土地を取得している。870万円。

競売建物内のゴミの分別片付け、コンクリートのハツリ、ペンキ塗り、清掃、引越し、駐車場のライン引きなど、自分たちでできることは、従業員総出で行ったので人件費は掛かっている。・・・コロナで手空きだったので丁度良かった。

■手詰め用の充填機取得。

塩素剤を手詰めで充填する際に、自動計量を行ってくれる機械。280万円

■サーバーの取得+ノートパソコン

在宅ワークを可能とするために、サーバーを取得した。207万円

■業務用洗濯機、乾燥機の取得

洗濯機と乾燥機を取得した。224万円

■印刷機用のソフト取得

データ送信スピードを上げるためのソフト取得。136万円

■その他少額資産として

看板文字、便器、ポンプ、防犯カメラ、電動シャッター、可動間仕切り、舗装などを取得している。263万円

■まとめ

弊社にとっては、コロナバブルで4月5月と売上が伸び、利益が出そうだったので、思い切って事務所や工場移転、設備投資をおこなった。またものづくり補助金の事業計画の採択を受けたので、事業の投資をおこなった。(ものづくり補助金の性質上、事業終了後に報告を行って承認を受けなければ、補助金支給決定がなされない。補助金の支給決定および額の決定は2021年4月なので、本期には算入していない。)

■損益計算書

【抗菌売上】 3111 万円 (-860 万円)

飯田市のかぐらの湯が、事故により源泉が出なくなってしまい弊社のメンテナンスが減少している。減少要因はこれだけではないが、一因として報告する。

昨年度は源泉配管の洗浄工事などがあったが、今年度はなかった。

【ネット販売部門】 1 億 2088 万円 (+8121 万円)

塩素.jp 9640 万円 (+6570 万円) (うちコロナ特需+6300 万円)

温泉の素.com 1211 万円 (+325 万円)

入浴剤.net 525 万円 (+148 万円)

【地域貢献事業売上】 115 万円 (-12 万円)

地域情報サイト「南信州.com」として 14 期目である。

正直に申し上げ厳しい。大きな成長の見込みはない。継続あるのみ。

【売上げ総利益】

グット伸びた。+5672 万円 コロナ特需のおかげである。

【販売費および一般管理費】

給与手当や雑給が合わせて 1148 万円伸びている。温泉の素.com で退職した者を補充する際に、弊社製品の製造もしていることから、弊社で採用としたからである。減価償却は 990 万円増えた。修繕費で 248 万円増えた。消耗品も 955 万円増えた。租税公課で 759 万円増えた。保険料も 109 万円増えた。雑費も 545 万円増えた。倒産防止共済も満額 240 万円支出した。(詳細は参照ください) 合計で販売管理費が、5949 万円増えている。これを見て読み取っていただきたいが、家賃と給与手当以外は来期大幅に減少する。

【営業損失】

毎年のものであるが、家賃収入が 1504 万円ある会社である。家賃収入を営業外損益に計上する関係で、営業損失は出る。昨年度より増加したのは温泉の素.com からの家賃である。

【総論】

メンテナンス関連の売上げは、上述のかぐらの湯が減少した。

ネット通販部門がベースとして順調に伸びている。

コロナ特需で利益がたくさん出る筈だが、当期の主な動きのところでは記したように、設備投資や修繕、10 万円以下の消耗品の購入をしたので、昨年度並みの利益となった。

(昨年度並みの利益となるように、様子見ながら投資したのが実情ですが。)

■貸借対照表

<資産の部>

【流動資産】

飯田信用金庫	331,412 円	
八十二銀行	6,052,429 円	
同上	246,127 円	
郵便局	1,363,687 円	
ジャパンネット	2,238,801 円	
アルプス中央信金	424,097 円	
みなみ信州農協	197,205 円	
長野銀行	392,753 円	
長野県信用組合	1,741,643 円	
八十二銀行定期	1,866,087 円	リレー積立
長野県信用組合	340,000 円	定期積金
現金	100,000 円	
小口現金	28,132 円	
合計	16,961,740 円	

である。

売掛金の中で、不良債権化している取引先がある。(2 社合算で 100 万円) 2 社とも温泉施設であるが、永年お世話になってきた中で、コロナによる売上減少に伴って経営が厳しそうなので、見守っている。

【固定資産】

今期の主な動きを参照されたい。今後も安定成長するようにしっかりと設備投資した。

<負債の部>

【流動負債】

ネットポイント未払金は、インターネット販売した際に、お客様にポイント付加している残高を3月末日の総計で計上している。したがって、次回購入時にポイントを使った場合に値引きするものなので、負債であって、実質負債ではないと考えている。

未払消費税が、マイナスとなっているが、建物取得・設備投資による消費税の過払い分の還付分である。

短期借入金 1060 万円は、温泉の素.com からの借入である。建物内部の投資をするにあたって借り入れた。来期中に温泉の素.com からの家賃と相殺するなど、残高をゼロにするつもりである。

【固定負債】 9598 万円 (+6767 万円)

内訳：長期借入金 9598 万円 (+6767 万円)

八十二銀行	3990 万円 (+3950 万円)	・・・建物取得・改装のため
長野県信用組合	3410 万円 (+2898 万円)	・・・建物取得・改装のため
日本政策金融公庫	272 万円 (-256 万円)	
鈴木詠里子	922 万円 (-286 万円)	
鈴木健太郎	1003 万円 (+463 万円)	

金融機関からの負債は予定通り返済している。建物取得に合わせて、コロナ資金を活用して借り入れた。(3年間は実質無利息)

<純資産の部>

【資本金】 1000 万円

増減なし。

【剰余金】 982 万円 (+560 万円)

【貸借対照表の総論】

建物+土地取得により、金融機関からの借入を大幅に行った。

○資産の部では、

1. 保険積立金(生保 1/2 損金分)を解約すると 571 万円の返戻に加えて 399 万円程度の含み益が生まれること。= (現金がいる場合には合算 970 万円分の現金化が可能)

○負債の部では、

2. ネットポイントが 628 万円計上されていること (負債であって負債でない)
3. 長期借入金のうち社長や鈴木健太郎からの借入が 1925 万計上されていて早期に返済する必要が無いこと。(剰余金に近い性質であること)
4. 倒産防止共済の納付済分 520 万円分 (貸借対照表には掲載されていない) を任意解約すると 442 万円近く返戻されること。(あるいは貸付けを受けることもできる)

以上のことから、安定している。と考えている。

■【来期 第23期の重点施策】

【売上面】

メンテナンス部門は若干減少する。

ネット通販のなかでも、温泉の素.com、入浴剤.net の売上げを伸ばす。入浴剤.net に関しては、SEOに取り組んでいく。入浴剤.net は「入浴剤 OEM」「入浴剤 専門店」「ハッカ 入浴剤」などのキーワードは検索 1 ページ目にくるようになった。まだまだ「入浴剤 ギフト」や「入浴剤 プレゼント」などで上位に来るようにしたい。今年度、楽天、アマゾンに出店した。まだまだ売上は弱い、伸びてゆくだらう。

展示会への出展を見合わせる。コロナにより来場客数が見合わないからである。一方で、リモート商談が増えてきている。営業用にリモート商談ブースを設けるなど体制を整えていく。(移転したことで、そういったブースなどの作成スペースが生まれた)

「次亜の素」の商標を取得した。売上を伸ばしていく。

(参考)

昨年は、塩素消毒剤パブルがあったので、塩素.jp は 2019 年と比較した。

塩素.jp	2019年度と横ばい	温泉の素.com	2020年と横ばい
入浴剤.net	2020年と横ばい	楽天 kirareru	2020年と比較し+100万/月
		アマゾン	2020年と比較し+10万/月

(2021年4月5月の売上で比較)

【財務面】

事務所・工場を移転した際の借入として、金融機関からの借入が大幅に増加した。コロナ資金を活用し、3年間の利息は実質無利子で、元金返済がないプランにした。機を見てその分の定期積み立てをする。

(参考：令和3年5月の返済額で毎月71.4万円である)

返済終了予定口の金融機関名	毎月返済金額	返済終了予定月
日本政策金融公庫	5.4万円	令和4年3月
日本政策金融公庫	16.0万円	令和4年4月
上記2口返済 終了後の返済額	50.0万円	

※日本政策金融公庫からの借入がほぼ終わる。これまで約定通りに返済してきた。

公庫との取引は継続しておきたいので、ある程度の借入を本年中に検討打診したい。

返済増加予定の金融機関	毎月返済金額	返済開始月
八十二銀行	7.1万円	令和6年4月
長野県信用組合	16.7万円	令和6年4月
上記2口返済開始後の返済額	73.8万円	

【補助金】

今期、ものづくり補助金の事業計画が採択され約1000万円の事業投資をした。

2020年3月末までに事業が終わり事業報告をしたところ、2021年4月26日に補助金の支給決定がなされた。(501万円)

来期も補助金を活用できる事業があれば検討していく。

【総括】

入浴剤.net (一般顧客向け自社サイト)、楽天「kirareru」(一般顧客向けショップ)アマゾン「抗菌美装」で売上を上げていく。伸びつつあるのでこのまま増やしていく。